

板、いわゆる「ようこそ看板」を設置することを提案しました。

★年々増加する外国人住民は、本市の人口減少対策においても重要であることを明らかにし、市は外国人住民に対し、生活環境に関するアンケート調査の実施を検討することになりました。

★令和2年に、苫小牧市体育協会が苫小牧市スポーツ協会に名称変更となることから、マイナースポーツやビリーグのような生涯スポーツをコンセプトとする団体などの重要性について質問しました。



新二 多喜 議員

★市立病院の防災対策について、重油タンク施設の更新時に容量拡大を検討すると答弁がありました。

★市立病院の熱中症対策について、今後各病室にエアコンの設置を検討すると答弁がありました。

★勇払地区の防災対策について、現在実施中の道河川防災工事を重点要求していくことを確認しました。また、住民への避難経路の周知徹底を要望しました。

★勇払地区の公共交通について、今後の路線バスの運用計画を検討すると答弁がありました。

★ひきこもり対策について、推計が100万以上と言われる「ひきこもり問題」への相談窓口の充実に努めると答弁がありました。



則 芳 山 議員

★IR誘致の機運醸成と関連予算の計上について、IR推進協議会と連携して機運醸成の手法を検討し、道とより密に連携・動向を注視し、適切な時期に予算要求の判断をすると答弁がありました。

★英語教育について、英語教育の充実に向け、ALTの効果的な活用も含め増員などについて協議を進め、生涯教育としての英語教育全体の在り方について検討する必要があると答弁がありました。

★青少年キャンプ場の備品管理・更新計画について、テントや備品などの更新や、安全・安心を確保する面から移動可能な照明器具の貸し出しなどを指定管理事業者と協議すると答弁がありました。

市民派会

桜井 忠 ・ 谷川 芳一

■ 一般質問



忠 桜井 議員



一 芳川 議員

1. 苫小牧市立病院の管理運営について
2. 用悪水路について
3. 産業廃棄物旧処分場の管理運営について
4. 立地企業サポート事業について
5. IRについて
6. 公園の利用について
7. アスベスト対策

■ 委員会審議

厚生委員会

1. 予防接種

(1) 北海道では媒介するコガタアカイ工力の生息環境はなく発症例もないのに、なぜ定期接種化するのか、そのため多くの副反応が疑われる事態はおかしい。見

直しをするべきではないか。(修学旅行など九州に行くものも多くなった)

2. 市民窓口

(1) 結婚届の元号が現在、平成に二本線を引いて横に令和と記している。元号の発表から猶予があり、発注して印刷できる期間はずいぶん長いはずだが、いつまでも古い用紙を使うということは予算の単年度会計の原則を無視しているのではないか。(経費を安くするために多く印刷した、市民からは苦情はないが至急改める)

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

1. 総合防災訓練

(1) 緊急メールの発信時間について、10時という時間は市内各葬儀場で葬儀が開式される時間、私が参列していた会場も会場がシーンと静まり、僧侶がまさに読経を始める直前、全員の携帯が鳴った。程なく訓練と分かったが、時間を変えるべき。(反省材料として今後に生かしていく)